



## 書籍紹介

### ていねいな文章大全

日本語の「伝わらない」を解決する108のヒント

石黒圭

ダイヤモンド社

2023年9月



文章を書くのは得意ですか？ そう問われて、得意ですと即答できる人は限られます。しかし、私たちの仕事は言葉でできています。学生であっても、論文・レポートなど文章を書く機会は少なくなく、職場でも学校でも、私たちは書いた文章で評価されます。字が汚い人がきれいな字を書くことは難しいのですが、字をていねいに読みやすく書くことならできます。同様に、文章が苦手な人が名文を書くことは難しいのですが、文章をていねいに読みやすく書くことならできます。本書は、日本語研究者の立場から、文章をていねいに書くときの勘どころをまとめたものです。ご自身の文章の確認・校正に、ぜひご活用ください。

▶ 石黒圭

### 一般言語学から見た日本語の語形成と音韻構造

窪菌晴夫

くろしお出版

2023年10月



本書は、1995年に出版した『語形成と音韻構造』（くろしお出版）の続編として、過去30余年間の私の研究を、国内外における研究動向を踏まえてまとめたものです。音韻現象の普遍性や記述の一般性が求められる中、本書は東京方言の複合語アクセント（第2章）、「紅白歌合戦」のような音韻的に一語化しない複合語（第3章）、「NHK」などのアルファベット頭文字語（第4章）、「インスタ」（グラム）などの短縮語（第5章）、「ゴジラ」などの混成語やポケモンの命名（第6章）、「マンマ」などの赤ちゃん言葉や「サイヤ人」などの逆さ言葉（第7章）といったさまざまな語形成過程を、一般言語学の視点から考察しました。

▶ 窪菌晴夫

### はちうえのハイビスカス(左) 洋服のおしゃべり(右)

松村雪枝〈文〉、横山晶子〈言語監修・解説〉、Hara Alina〈英語翻訳〉

言語復興の港、奈良芸術短期大学

2023年10月



小島光貴〈絵〉 田中茉央〈絵〉

奄美群島沖永良部島の作家、松村雪枝さんの連作物語「ていながま」から2編を、奈良芸術短期大学の小島光貴さん、田中茉央さんのイラストで絵本化しました。しまむに（沖永良部方言）・日本語・英語の3言語で、巻末に方言の解説が付いています。『はちうえのハイビスカス』は死期における生き方を、『洋服のおしゃべり』は意思を持ち表現する力を描いた作品です。絵本を通じてしまむにに興味を持つ人が増え、危機言語を継承する一助になることを願っています。

▶ 横山晶子

### 方言はなぜ存在するのか ことばの変化と地理空間

大西拓一郎

大修館書店

2023年11月



方言という、ことばの地理的異なりを理解するためには、違いを生み出すもとなる言語変化を解明することが必要です。語彙の基本変化である「類音牽引」「同音衝突」「民間語源」「混淆」を「有縁化」という概念で統一的に説明しました。このような語彙が示す方言分布と、文法の分布は、特性が異なります。そのことを地図とグラフを使って明確化し、「方言分布の基本法則」を導き出しました。以上を基盤に学史上の「方言圏論」と「方言区画論」の対立問題への視点を示し、言語地理学の進むべき指針を明らかにしました。図版を多用することで、一般の読者の方にも理解しやすい内容になっています。

▶ 大西拓一郎

### コーパスによる日本語史研究 近世編

岡部嘉幸、橋本行洋、

小木曾智信〈編〉

ひつじ書房

2023年12月



本書は「日本語歴史コーパス」(CHJ)の構築と活用を行ってきた国語研「通時コーパス」プロジェクトによるシリーズの1冊です。「CHJ 江戸時代編」を活用して行われた研究と、その設計や利用方法の解説から成ります。既刊の『中古・中世編』『近代編』の間に入るもので、3冊を時代順に並べると表紙や背表紙が1つにつながるデザインになっています。この表紙のように、近世語資料は日本語の歴史をつなげて見る際に必須のものですが、従来は紙の総索引すら整備が進んでおらず、コーパスが切望されていました。今、そのコーパスと利用ガイドとなる本書が世に出たことで、日本語の通時的研究がいつそう進展することに期待します。

▶ 小木曾智信



### 日本語学術写作与研究方法

石黒圭〈監修〉、杨秀娥、费晓东、董芸、田佳月〈編〉

外语教学与研究出版社

2023年9月



### 知れば知るほど好きになる ことばのひみつ

柏野和佳子〈監修〉

高橋書店

2023年11月